

3

【意見文の下書き】

先日、「食品ロスをなくそう」というポスターを見かけた。新聞や広告でも「食品ロス」という言葉をよく目にする。「食品ロス」とは、本来は食べられるのに捨てられてしまう食品のことだ。今後、世界の人口増加や、気候変動による食糧不足が予想される中、私たちは、食品ロスをなくすための取組をもっと行うべきだ。

ニュースでは、まだ食べられるのに食品が廃棄されていたり、レストランで残飯が捨てられていたりすることが話題になっている。私の学校の給食調理員さんの話によると、好き嫌いが原因で給食を残す人が多く、残食が減らないとのことだ。

そこで、我が国の食品ロスの状況について調べてみた。

農林水産省の資料によると、食品ロス量は年間約522万トンもあり、そのうち各家庭から発生する「家庭系」食品ロスは、約247万トンだった。A食品ロスの約半分は家庭から出ているという現状が分かった。私は、こんなに多くの食品を捨てているという事実に驚いた。そして、私たち一人一人が食べ物を無駄にせず、もっと大切にしていこうと考えた。

では、食品ロスを減らすために私たちにできることは何だろうか。我が家で行っていることについて、母に尋ねてみた。すると、スマートフォンで冷蔵庫の中を撮影するなど、食材をチェックして買い物に行くように心がけていると話してくれた。このことによって、同じ物を買ってしまうことが減った。調べてみると、食品ロスをなくす取組は、他にもいろいろあるようだ。

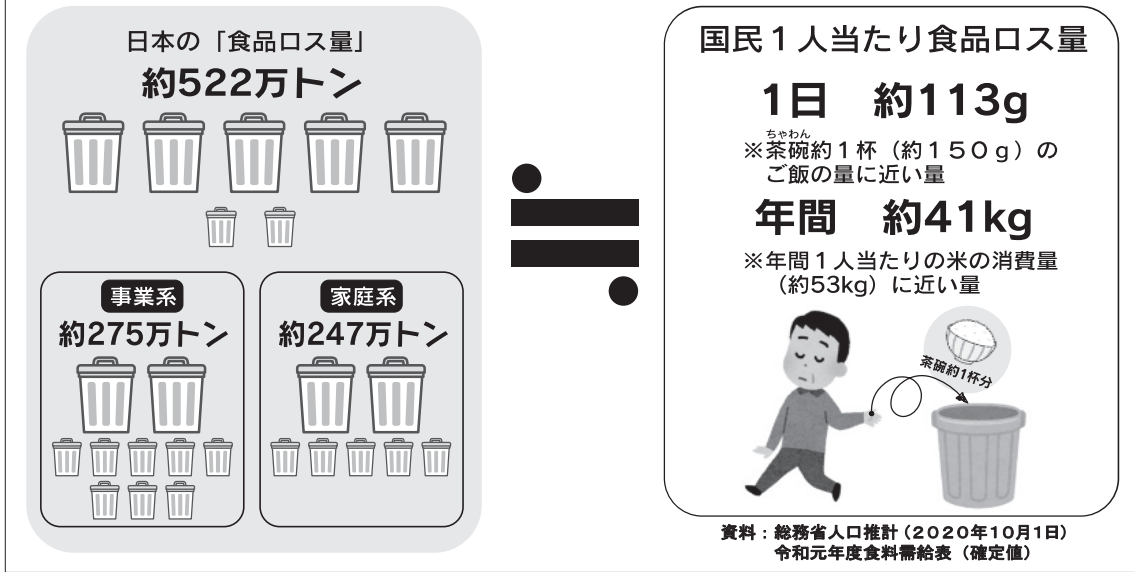
食品ロスを減らすための小さな行動も、一人一人が実行に移すことで大きな削減につながると考える。身近なところから食品ロスを減らす工夫をしてみようだろうか。



青木さんは、国語の時間に、「食品ロスについて」というテーマで意見文を書きました。次は、青木さんが書いた【意見文の下書き】と、意見文を書くために集めた【資料】、青木さんがアドバイスを受けて集めた【消費者庁のウェブサイトにある資料の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【資料】

日本の食品ロスの状況（令和2年度）



「食品ロス及びリサイクルをめぐる情勢」<令和4年8月時点版>

（農林水産省 外食・食文化課 食品ロス・リサイクル対策室）を基に作成

【消費者庁のウェブサイトにある資料の一部】

お買物編

1 買物前に、食材をチェック

買物前に、冷蔵庫や食品庫にある食材を確認する



▶メモ書きや携帯・スマホで撮影し、買物時の参考にする

2 必要な分だけ買う

使う分・食べきれぬ量だけ買う

▶まとめ買いを避け、必要な分だけ買って、食べきる



3 期限表示を知って、賢く買う

利用予定と照らして、期限表示を確認する

▶すぐ使う食品は、棚の手前から取る



ご家庭編

1 適切に保存する

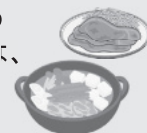
▶食品に記載された保存方法に従って保存する

▶野菜は、冷凍・茹でるなどの下処理をして、ストックする



2 食材を上手に使いきる

▶残っている食材から使う
▶作り過ぎて残った料理は、リメイクレシピなどで工夫する



クックパッド消費者庁のキッチンリメイクや食材を使いきるレシピを参考にしてみましょう。詳しくはQRコードへ



3 食べきれぬ量を作る

▶体調や健康、家族の予定も配慮する



食品ロス削減 啓発用三角柱（買物編・家庭編）（令和3年度版）の一部を加工して作成

一 青木さんが考えた【意見文の下書き】の構成について説明した文として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 複数の異なる内容の主張を伝えるために、自分の主張を最初と最後の段落に書いている。
- 2 自分の主張する内容を明確に伝えるために、自分の主張を最初と最後の段落に書いている。
- 3 読み手が主張を予想しながら読めるように、自分の主張を最後の段落に書いている。
- 4 読み手が主張と事例との関係と比較して読めるように、自分の主張を最後の段落に書いている。

二 青木さんは、【意見文の下書き】の~~~~~線部「減った」を「減ったそうだ」に直すことにしました。その理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 自分の体験であることを明確にするため。
- 2 自分の推測であることを明確にするため。
- 3 母から聞いた内容であることを明確にするため。
- 4 母が否定した内容であることを明確にするため。

三 青木さんの学級では【意見文の下書き】を読み合って、グループ内でお互いにアドバイスをしました。【アドバイスの内容】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【アドバイスの内容】

大田 青木さんの意見文は、【資料】から具体的な数値を示しているけれど、（
石川 食品ロスについては、私もみんなで取り組んでいく問題だと思います。調べてみると、食品ロスをなくす取組は、他にもいろいろあるようだ。と書いているけれど、食材のチェックの他にどのようなものがあるのか、具体的に書いたほうがよいのではないのでしょうか。
小林 私も同感です。食品ロスをなくす活動を紹介することで、みんなもやってみようという動機づけになると思います。

(1) 青木さんは、大田さんのアドバイスを受けて【意見文の下書き】④のあとに、「一人当たりの食品ロスの量はなんと年間約41kgもあるのだ。」を加えました。大田さんのアドバイスの内容として（ ）に入る最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 イメージしやすい数値を示すことで、自分のこととして考えやすくした方がよいのではないのでしょうか
- 2 読み手にうったえかける表現にすることで、新たな興味が広がるようにした方がよいのではないのでしょうか
- 3 大切なことを繰り返し返す表現にすることで、インパクトを与えた方がよいのではないのでしょうか
- 4 数字以外のデータも示すことで、誰しもが共感しやすくなった方がよいのではないのでしょうか

(2) 青木さんは、石川さんと小林さんからの【アドバイスの内容】を踏まえて、調べてみると、食品ロスをなくす取組は、他にもいろいろあるようだ。のすぐあとに、食品ロスをなくす取組を書き加えることにしました。あなたならどのように書きますか。次の条件1と条件2に合うように書きなさい。

条件1 【消費者庁のウェブサイトにある資料の一部】から必要な情報を引用して書くこと。

引用する部分は、かぎかっこ「」でくくること。

条件2 「例えば、消費者庁のウェブサイトにある資料には、」に続けて書くこと。